

どぶろく特区は

答

地元の要望あれば

問

橋本 眞一

長者地区に集落活動センター建設計画があるが、地区ではお米の栽培農家が多く、農家食堂、民宿、どぶろく特区など検討できないか。

農林業者育成、園芸農業など指導のできる、姿の見える係の設置は。

地元の要望を待つのではなく、積極的な行動、農林業を勉強している町出身者の育成を。

答

町長

過疎、高齢化の中、耕作放棄地が多く、後継者不足に悩み、厳しい現状で収穫された米は自家消費用である。

どぶろく特区など、地元より要望があれば協力する。農林業者育成は、専門知識が必要で、現状の職員数では対応ができていない。状況にあった職員配置、定数管理を考える。

自然エネルギー 発電計画はあるか

答 補助金がなければ導入困難

問

橋本

池川山村広場の電気代は。全国の原発停止、電力不足、節電要請もあると思うが、本町では自然エネルギー発電計画はないか。使う電気から売電する時代となっている。

答

町長

再生可能エネルギーの固定価格買取制度がスタート。自然エネルギー発電が注目を集め、本町でもふたば保育所に太陽光



津野町風力発電

発電を設置、22年度より運用、設置費1千万円に対し、年間発電量の費用効果は17万円で償却に60年くらいかかる。太陽光、風力、水力と自然エネルギー発電適地

調査も行ったが、適地の報告はない。公共施設電源として整備するには、補助金がなければ導入は困難である。

町・副町長外部団体役員

好ましくない

答 一線を引くことは大事

問

橋本

町長、副町長の営利目的の補助団体、第3セクター、委託契約先の役員就任は、好ましくない。

答

町長

私の役員就任先は、第3セクターアプロスの取締役。副町長は、アプロス代表取締役と社会福祉協議会理事である。

委託契約などあり、行政側と一線を引くことは大事であり、ご意見に沿った方向を目指す。



次期町長選は

答 支援者と相談

子育て支援では、新施策も実施している。高齢者福祉では、民間事業者によるグループホーム設置の支援、デイサービスセンターの整備、医療費、給食費の負担軽減、通学助成制度の導入。これからは、財政の健全化に努め、持続可能な地域づくりを進め、10年

現時点では考えてないが、支援者と相談し結論を出す。実績として「信頼と協働」による「魅力と活力あるまちづくり」をめざし、様々な課題に取り組みんでいる。また、地域を活性化するための施策の実施や、森林資源の活用を促進し、農産物の集荷体制の構築に着手。

答 町長

来年8月に任期満了の町長は、次期町長選挙に出馬するか。3年間の実績と今後の方針は。

問 野村安夫

後10年後を見据え、課題に真剣に取り組む。

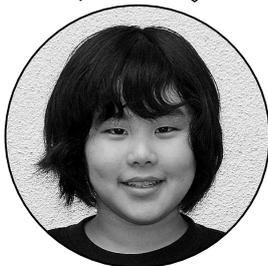
問 野村

少子高齢化が一段と進み、若者定住が課題であると思うが、職員の町外流出の歯止めの対策はないか。

答 町長

産業振興計画の中で、中山間対策、地域の観光に取り組み、活性化につなげ生きがいのあるまちづくりの推進の中で若者定住を図りたい。職員の採用時には、町内に住めるか、確認し、採用する。

コラム



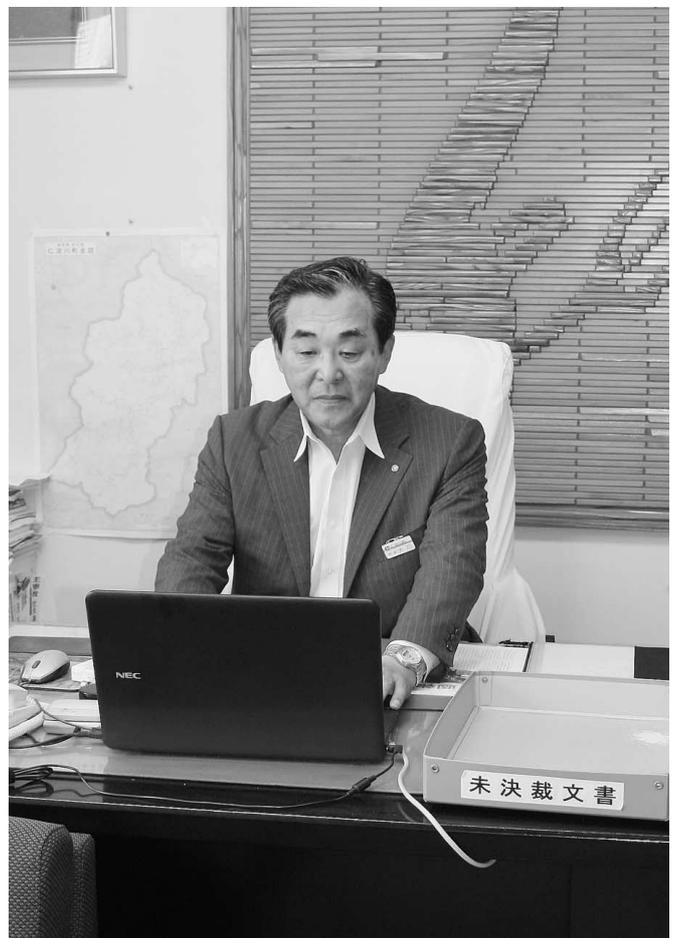
1ジャーになりました。最初は、めんどくさいと思って嫌々やっていました。で

私は、もともとバレー部のプレイヤードでした。でも、いろいろあって、マネ

支えてくれたみんな ありがとう

も、一、二年生の時の顧問の先生や担任の先生、家族が説得してくれて、サポートしてくれました。とても感謝していますが、私は、恥ずかしくて、一回も恩返しできていません。恩返しどころか、迷惑をかけるばかりです。今は部活がとても楽しいです。私を支えてくれた人達に、笑顔でありがとうと言って、いつかは恩返ししたいと思います。ありがとうございます。

仁淀中3年 掛水 真帆



執務中の大石町長



439号線今後は

答 国、県に要望

問 坂本 伝一

大植工区全長1900m、平成26年完成を目指して改良工事を実施している。
今後の改良は。

答 町長

県議会企画建設委員の出先機関調査があり、当路線の早期整備について、強く要望を申し入れた。
今後、未改良区間の早

期整備については、関係する津野町と連携を取り、国、県、その他関係機関に強く要望していく。

議長一口メモ!

5月29日の愛媛新聞に、久万高原町東明神の採石場跡に廃棄物処理会社「TO」の最終処分場設置計画に、面河漁協が同意する報道があった。

現地を見れば、採石場東側沿に久万川が流れ、下流は田園が広がる。
仁淀川流域には約10万人が住み、高知市に分水もしている。

水質日本一の仁淀川。その支流に、環境に悪影響を及ぼす無謀と思われる計画。

6月20日に高知県の流域六市町村議会が、愛媛県と久万高原町に設置反対の意見書を提出したが、県の対応には温度差を感じた。久万高原町は快く、後には議会が設置反対を決議、漁協も同意を撤回しているが、高知県議会は設置反対意見書を否決。

両県とも流域住民の思いとは違うように感じる。
平均100万㎡、約30年間に埋める計画。中止となる最後まで反対の声を。

片岡 政徳



国道439号 (太郎田)



町道大植線

維持管理は

答 維持に努める

問 坂本 伝一

町道大植線は、道路環境が悪化している。この道路は昭和46年頃整備されている。
舗装の老朽化については。

答 町長

地域の代表者の意見を参考に現地を精査し、整備の必要な箇所から、順次舗装など維持に努める。